

農業技術センターニュース

2007年 1月

岐阜県農業技術センター 岐阜市又丸729-1 TEL 058-239-3131
南濃試験地 海津市海津町平原1165 TEL 0584-53-0175
池田試験地 揖斐郡池田町般若畑631-11 TEL 0585-45-3837
<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/g-agri/index.html>

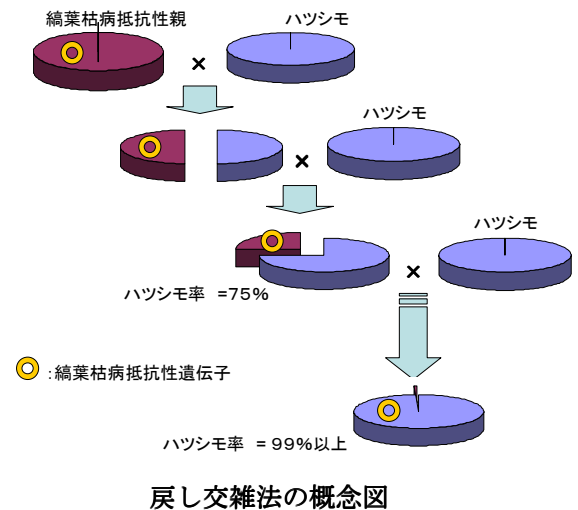
縞葉枯病抵抗性「ハツシモ」の育成に取り組んでいます

品種登録と数年後の実用化を目指して、栽培試験を行っていきます

縞葉枯病に弱いハツシモに、縞葉枯病抵抗性を戻し交雑法により導入し、縞葉枯病抵抗性以外の形質は従来のハツシモとほぼ同じ系統(仮称:新ハツシモ)が育成できました。これにより縞葉枯病ウイルスを媒介するヒメビウカに関する農薬の削減が可能です。

◎従来のハツシモと比較して、……(平成18年度)

- ・縞葉枯病に抵抗性を示す
- ・食味はハツシモとほぼ同一
- ・品質は同じか優れる
- ・稈長はやや短い



フェアリーホワイトが3賞を受賞

ジャパンフラワーセレクション2006-2007



農業技術センターで育成したフランネルフラワー「フェアリーホワイト」が、第1回フラワー・オブ・ザ・イヤー鉢物部門の「ベスト・フラワー(優秀賞)」「ニューバリュー特別賞」「人気投票第一位」の3賞を受賞しました。



「ニューバリュー特別賞」

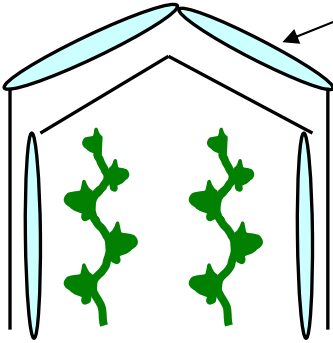
花の新たな価値観をデザインする品種で、使い勝手に優れており、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

燃料40%削減

空気膜ハウス

空気膜ハウスにより暖房用燃料の使用量を慣行ハウスより約40%削減できました

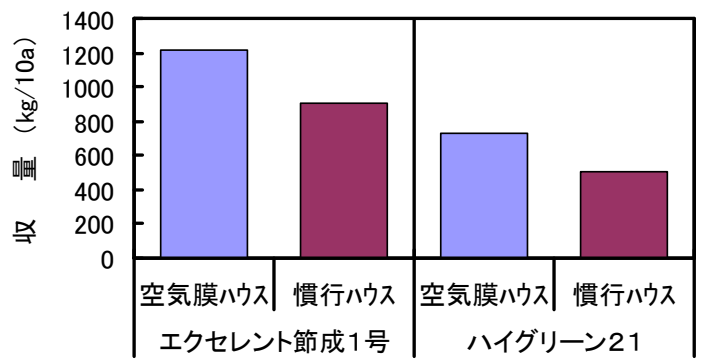
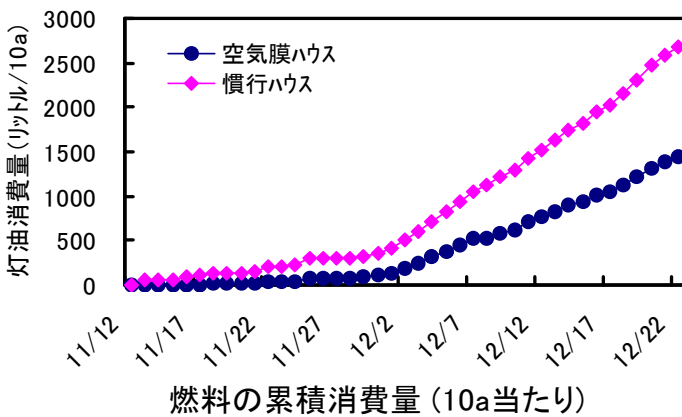
2層のビニールの間に送風機で空気を送ってふくらませます



空気膜とは二重のビニールの間を空気で膨らませた被覆資材で、この資材で被覆することにより保温性・断熱性が高まります(左図)。

キュウリを栽培した試験では、空気膜ハウスは暖房用燃料の使用量を慣行ハウスより約40%削減されました。

日中の気温や地温が高く推移するため、生育が早く、収量も多くなる傾向が認められました。



花きにおける生分解性ポットの改良及び利用技術の開発に取り組んでいます

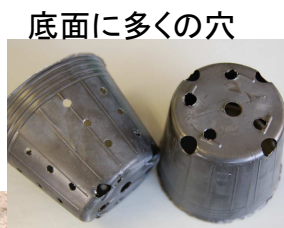
生分解性ポットとはプラスチックと同じように使え、自然界の微生物によって水と二酸化炭素に分解され、自然に還るプラスチックです

花壇苗ではPBS(ポリビフェニールサクシネート)にデンプンを20%混合して作ったポットを使用します。



PBS50% 分解早すぎ
PBS100% 分解遅すぎ

底面に多くの穴
底面の穴が活着に効果的
側面は効果少ない



ポットのまま植え付け



ポット抜きの手間
ポット集め・廃棄処理不要

定植直後の灌水は多めに行う



植え付け後1ヶ月でかなり分解

農業技術センター成果検討会の開催

平成19年2月23日(金) 午後1時から岐阜県農業技術センターで開催します